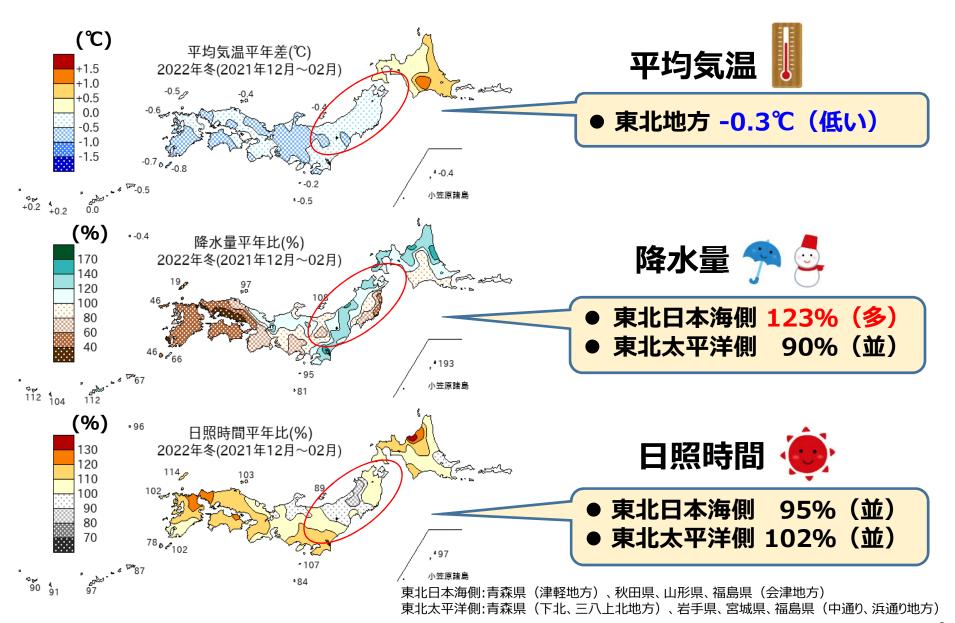
# この冬の天候の特徴と長期予報

### ~令和4年度仙台市水防協議会~

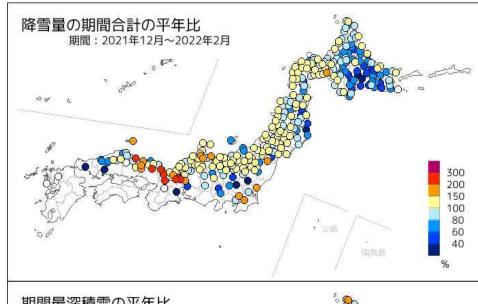
令和4年6月8日

仙台管区気象台 気象防災部予報課

## 今冬の気温・降水量・日照(平年との比較)



## 今冬の降雪量・最深積雪(平年との比較)



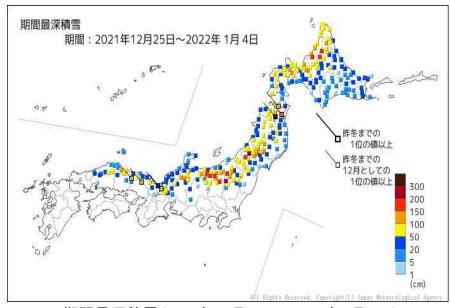
### 期間最深積雪の平年比 期間: 2021年12月~2022年2月 300 200 150 100 80 60 40

2022年冬(2021年12月~2022年2月)の降雪量と最深積雪

(上図:降雪量平年比、下図:最深積雪平年比)

冬(12~2月)の降雪量の平年比%と階級

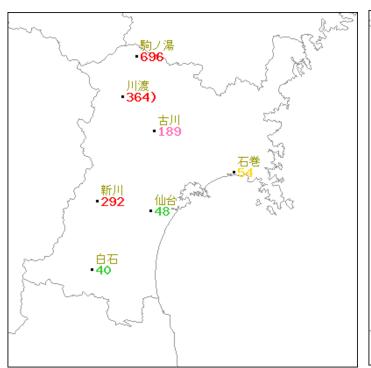
東北全域 114%(多い) 東北日本海側 124%(多い) 東北太平洋側 107%(並)

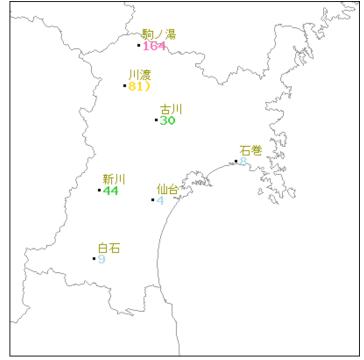


期間最深積雪(2021年12月25日~2022年1月4日)

東北日本海側:青森県(津軽地方)、秋田県、山形県、福島県(会津地方) 東北太平洋側:青森県(下北、三八上北地方)、岩手県、宮城県、福島県(中通り、浜通り地方)

# 今冬の雪の推移





記号	統計値区分
D	正常値
	現象なし
D)	準正常値
D]	資料不足値
Х	欠測
//	平年値なし

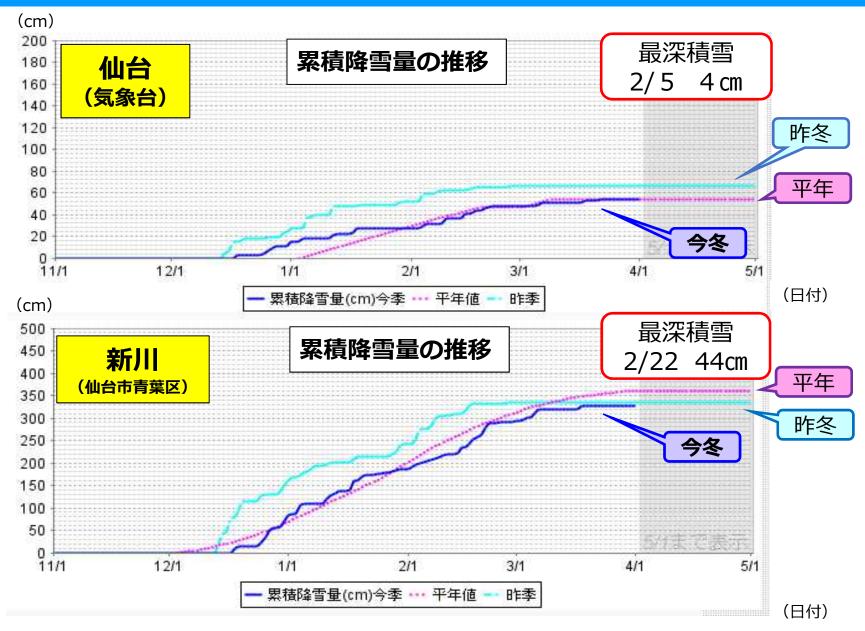
アメダス累積降雪量(cm) (2021年12月~2022年2月)

アメダス最深積雪(cm) (2021年12月~2022年2月)

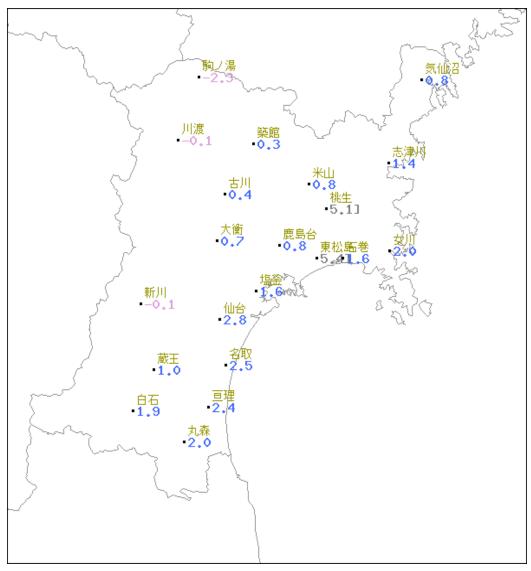
観測 地点名	駒ノ湯	川渡	古川	石巻	新川	仙台	白石
累積 降雪量	696cm	364cm	189cm	54cm	292cm	48cm	40cm
平年比	103%	106%	107%	174%	94%	100%	46%
最深積雪 (月/日)	164cm (2/22)	81cm (2/21)	<b>30cm</b> (12/28)	8cm (1/1)	44cm (2/22)	4cm (2/5)	9cm (1/1)

石巻 平年の2倍 <u>白石</u> 平年の半分

## 今冬の雪の推移



## 今冬の平均気温の推移



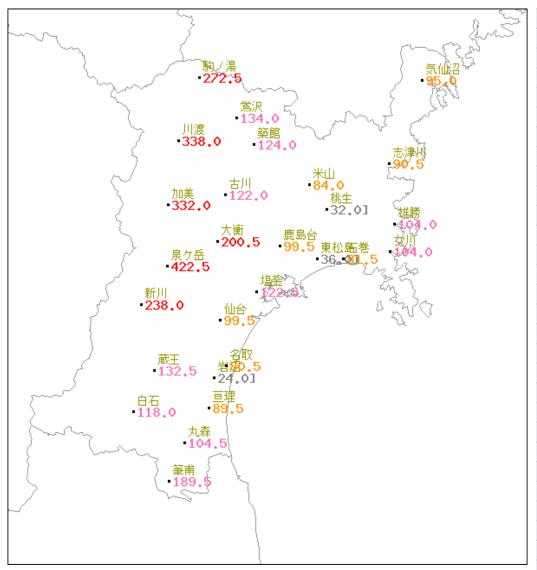
点名	実況値	平年値	平年差
駒ノ湯	-2.3	-1.8	-0.5
気仙沼	0.8	1.3	-0.5
川渡	-0.1	0.1	-0.2
築館	0.3	0.7	-0.4
米山	0.8	1.0	-0.2
志津川	1.4	1.7	-0.3
古川	0.4	1.1	-0.7
桃生	5.1]	//	//
大衡	0.7	1.2	-0.5
鹿島台	0.8	1.2	-0.4
東松島	5.4]	//	//
石巻	1.6	2.0	-0.4
女川	2.0	1.8	0.2
新川	-0.1	0.1	-0.2
塩釜	1.6	1.9	-0.3
仙台	2.8	3.0	-0.2
名取	2.5	2.7	-0.2
白石	1.9	2.2	-0.3
蔵王	1.0	1.5	-0.5
亘理	2.4	2.8	-0.4
丸森	2.0	2.3	-0.3

記号	統計値区分
D	正常値
	現象なし
D)	準正常値
D]	資料不足値
Х	欠測
//	平年値なし

アメダス平均気温(℃) (2021年12月~2022年2月)

宮城県全般に気温は低い。

## 今冬の降水量の推移



地点名	実況値	平年値	平年比(%)
駒ノ湯	392.0)	340.7	115
気仙沼	120.0	129.6	93
鴬沢	171.5	189.6	90
川渡	388.0)	297.9	130
築館	137.0	117.4	117
米山	110.5	97.0	114
志津川	113.5	129.3	88
加美	431.5	//	//
古川	151.5	129.4	117
桃生	95.0	//	//
雄勝	95.5	166.4	57
泉ケ岳	401.0	//	//
大衡	208.0	159.0	131
鹿島台	94.0	101.4	93
東松島	83.5	//	//
石巻	83.0)	106.3	78
女川	91.5	//	//
新川	265.5	213.5	124
塩釜	96.5	107.2	90
江ノ島	90.0	130.5	69
仙台	105.5	114.6	92
岩沼	75.0	//	//
名取	65.0	125.9	52
白石	124.5	132.3	94
蔵王	125.5	//	//
亘理	70.5		59
丸森	77.5		
筆甫	107.0	162.0	66

記号	統計値区分
D	正常値
	現象なし
D)	準正常値
D]	資料不足値
Х	欠測
//	平年値なし

アメダス積算降水量(mm) (2021年12月~2022年2月)

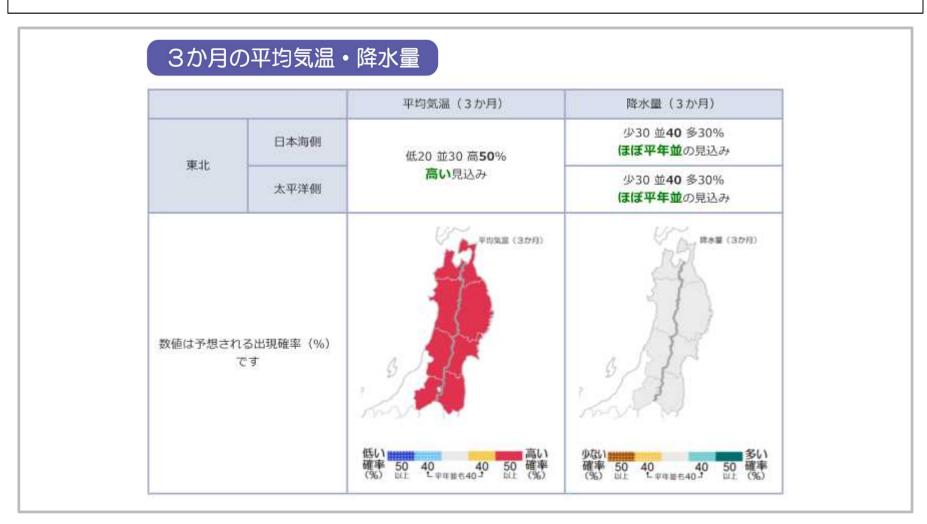
西部(山沿い)平年より多い。東部は平年並み。

# 東北地方 6~8月の天候の見通し

~ 3か月予報~

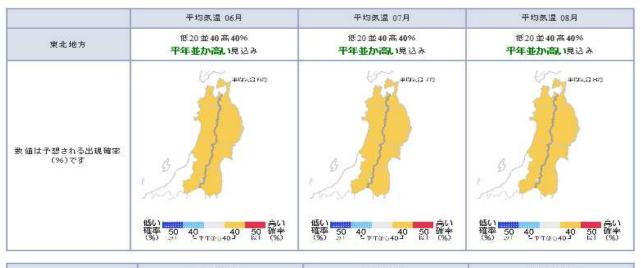
## 東北地方の6~8月の天候の見通し

- ▶ 暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の気温は高いでしょう。
- ▶ 向こう3か月の降水量は、ほぼ平年並の見込みです。



## 東北地方の6~8月の天候の見通し

#### 月別の平均気温・降水量



		降水量 06月	降水量 07月	降水量 08月
www.H.	日本海側	少30並30多4 <b>0%</b>   <b>3 ま平年並</b> の見込み	少30並 <b>40</b> 多30%   <b>試ぎ平年並</b> の見込み	少30並40多30%  計 <b>3平年並</b> の見込み
東北	太平洋側	少30並30多 <b>40</b> %  試試 <b>平年並</b> の見込み	少30並 <b>40</b> 多30% <b> 31ぎ平年並</b> の見込み	少30並 <b>40</b> 多30% <b> 試ぼ平年並</b> の見込み
	される出現 確率 ) です	少心 一 少心 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	9/3/1	少(%) 40 40 50 (%) 以上 1 4 4 (6.40) 以上 1 4 4 (6.40)

<次回発表予定>3か月予報 次回は6月21日(火)14時

# 東北地方の夏の特徴(最近10年間)

### 最近10年間の夏の特徴

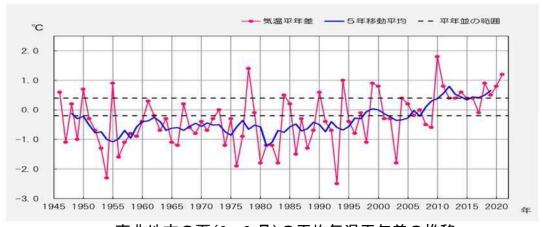
年	夏の平均気温 平年差℃(階級)	夏の天候の特徴
2012	0.4(0)	気温は平年並。降水量はかなり少ない。日照時間はかなり多い。
2013	0.4(0)	気温は平年並。降水量は多い。日照時間は平年並。8月に秋田県、岩手県を 中心に記録的な大雨。
2014	0.6(+)	気温は高い。降水量は多い。日照時間は平年並。
2015	0.4(0)	気温は平年並。降水量は少ない。日照時間は平年並。
2016	0.4(0)	気温は平年並。降水量は多い。日照時間は多い。
2017	-0.1(0)	気温は平年並。降水量は平年並。日照時間は平年並。8月は顕著な日照不足 梅雨明け特定できず。
2018	0.9(+)	気温は高い。降水量は平年並。日照時間は多い。
2019	0.5(+)	気温は高い。降水量は平年並。日照時間は平年並。
2020	0.8(+)	気温は高い。降水量は多い。日照時間は平年並。7月は顕著な多雨・日照不足 東北北部は梅雨明け特定できず。
2021	1.2(++)	気温はかなり高い。降水量は平年並。日照時間は多い。

階級 --: かなり低い -: 低い 0: 平年並 +: 高い ++: かなり高い

### 東北地方の夏の特徴(気温と降水量の経年変化)

#### 夏(6月~8月)の気温と降水量の経年変化

東北地方の夏の平均気温は、1970 年代後半以降、年々の変動が大きくなっていますが、2010 年以降は平年並か高く、2018 年 以降は高い年が続いています。東北地方の夏の降水量は、最近10年間は大きな偏りはみられず、2021 年は平年並となりました。



東北地方の夏(6~8月)の平均気温平年差の推移 平年値は 1991~2020 年の 30 年平均値、統計期間は 1946~2021 年です。 平年並の範囲は-0.2°C以上、0.4°C以下です。

(%) 第水屋平年比 — 5年移動平均 ----平年並の範囲
150
100
50
1945 1950 1955 1960 1965 1970 1975 1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020 年

東北地方の夏(6~8月)の降水量平年比の推移

平年値は 1991~2020 年の 30 年平均値、統計期間は 1946~2021 年です。 平年並の範囲は 92%以上、110%以下です。

## 東北地方の梅雨入りと梅雨明け

	東北南部			
年	入り	明け	梅雨の時期の降水量の 平年比(地域平均値) (%)	
2010年	6月14日ごろ	7月18日ごろ	103%	
2011年	6月21日ごろ	7月 9日ごろ	105%	
2012年	6月 9日ごろ	7月26日ごろ	83%	
2013年	6月15日ごろ	8月 7日ごろ	133%	
2014年	6月 5日ごろ	7月25日ごろ	95%	
2015年	6月26日ごろ	7月26日ごろ	63%	
2016年	6月13日ごろ	7月29日ごろ	67%	
2017年	6月30日ごろ	_	106%	
2018年	6月10日ごろ	7月14日ごろ	41%	
2019年	6月 7日ごろ	7月25日ごろ	113%	
2020年	6月11日ごろ	8月2日ごろ	153%	
2021年	6月19日ごろ	7月16日ごろ	77%	
平年	6月12日ごろ	7月25日ごろ		

	東北北部				
年	入り	明け	梅雨の時期の降水量 の平年比(地域平均 値)(%)		
2010年	6月16日ごろ	7月18日ごろ	112%		
2011年	6月21日ごろ	7月 9日ごろ	69%		
2012年	6月 9日ごろ	7月26日ごろ	84%		
2013年	6月15日ごろ	8月10日ごろ	108%		
2014年	6月 6日ごろ	7月25日ごろ	108%		
2015年	6月26日ごろ	7月29日ごろ	86%		
2016年	6月13日ごろ	7月29日ごろ	90%		
2017年	7月 1日ごろ	_	116%		
2018年	6月11日ごろ	7月19日ごろ	98%		
2019年	6月15日ごろ	7月31日ごろ	70%		
2020年	6月25日ごろ	_	140%		
2021年	6月19日ごろ	7月16日ごろ	70%		
平年	6月15日ごろ	7月28日ごろ			

- ・「-」は、梅雨入り梅雨明けの時期がはっきりしなかったため、特定しなかった場合を表します。
- ・「平年」は、令和2年(2020年)までの過去30年の平均(入り・明けを特定しなかった年は除外)の日付です。
- ・「梅雨の時期の降水量の平年比(地域平均値)」は、全国の気象台・測候所等での観測値を用い、概ね梅雨の期間に相当する6~7月(沖縄と奄美は5~6月)の2か月間降水量の平年比(%)を各地域で平均したものです。

## (参考)季節予報の発表予定

- 2週間気温予報 (毎日 14時30発表)
- <u>1か月予報(14時30発表)</u>毎週木曜日
- ●<u>3か月予報(14時発表)</u> 【2022年】

6月21日 (火) 7月19日 (火) 8月23日 (火) 9月20日 (火) 10月25日 (火) 11月22日 (火) 12月20日 (火)

- ○<u>暖候期予報(14時発表)</u>2月25日(金) 3か月予報と同時発表
- ○<u>寒候期予報(14時発表)</u>9月20日(火) 3か月予報と同時発表
- ●<u>早期天候情報(14時30分発表)</u> 原則として毎週月曜日および木曜日に、基準を満たした場合に発表します。 月曜日が休日の場合は翌火曜日に発表します。
  - ※最新の季節予報をご利用ください

(気象庁ホームページ) https://www.jma.go.jp/jma/index.html

#### 令和4年6月30日から運用開始

# 警戒レベル4に相当するキキクル(危険度分布)は光です

#### 特別警報基準値超過を「黒」で表示

「黒」の出現を待つことなく、「紫」が出現した段階で速やかに安全な場所に避難することが極めて重要

特別警報基準値

超過を「黒」で表示 警戒レベル4相当 色 警戒レベル 「紫に統一 これまでのキキクル 黒 5相当 警戒レベル 濃い紫 紫 4相当 うす紫 4相当 赤 3相当 赤 3相当 黄色 2相当 黄色 2相当 白(水色) 白(水色)



2015(H27)年9月関東・東北豪雨(台風第18号等) 大崎市・渋井川周辺の状況(鳴瀬川水系)出典:国土地理院

### 「黒」と「紫」の意味と住民等の行動例 ~土砂災害の例~

#### 現状

色が持つ 意味	状況	住民等の行動の例
極めて 危険	命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生していてもおかしくない状況。	この段階の前に避難を完 了しておく。
非常に 危険 [4相当]	命に危険が及ぶ土 砂災害がいつ発生 してもおかしくない 状況。	土砂災害警戒区域等の 外へ <b>避難する</b> 。
警 <b>戒</b> 【3相当】	土砂災害への警戒が必要な状況。	高齢者等は土砂災害警戒 区域等の外へ避難する。 高齢者等以外の方も、 普段の行動を見合わせ始め たり、避難の準備をしたり、 自ら過難の判断をする。
<b>注意</b> 【2相当】	土砂災害への注 意が必要な状況。	ハザードマップ等により避難 行動を確認する。今後の 情報や周囲の状況、雨の 降り方に留意する。
今後の 情報等に 留意		今後の情報や周囲の状況、 雨の降り方に留意する。

#### 改善後

色が持つ 意味	状況	住民等の行動の例
災害 切迫 [5相当]※	命に危険が及ぶ <u>士砂</u> 災害が切迫。土砂災 害がすでに発生してい る可能性が高い状況。	(立退き避難が対えって危険な場合) 命の危険 直ちに身の安全を確保!
Š	<b>警戒レベル4までに</b>	びず避難!>
<b>危険</b> 【4相当】	命に危険が及ぶ土砂 災害がいつ発生して もおかしくない状況。	土砂災害警戒区域等の 外へ <b>避難する</b> 。

- ※ 警戒レベル5相当情報が出たからといって、必ず緊急安全確保が発令されるわけではない。
- ◆ 「警戒」(赤)、「注意」(黄色)、「今後の情報等に留意」 (無色)については変更なし。

「災害切迫」(黒)は、土砂災害がすでに発生している可能性が高い状況であり、土砂災害が発生する前にいつも出現するとは限らない。このため、「災害切迫」(黒)を待つことなく、「危険」(紫)が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要である。



これまでの「特別警報」と「土砂災害警戒情報・警報」との関係 の説明(「特別警報を待つことなく・・・」) ともリンクする